

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 22 日作成)

小委員会名	既存木造建築物調査診断小委員会		主 査 名：中島 正夫 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会		委員長名： 主 査 名：
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>日本では、建築物をより長く使用するための技術・制度の整備が必要になっており、その一環として、既存木造建築物（非住家を含む）の健全性を学術的に診断する方法を、建築学会から「既存木造建築物の健全性診断ガイドライン(仮称)」として編纂することを、本小委員会の目的とする。</p> <p>2015 年度：国内外の既存研究事例・手法、規準等の整理、分析。</p> <p>2016 年度：既存研究、既存診断法を参考にした、用語の整理、ガイドラインの本文（原案）作成</p> <p>2017 年度：ガイドライン解説（原案）の作成。計算例の作成。</p> <p>2018 年度：本文・解説の査読・校正、診断ガイドラインの発行</p>		
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：		
	中島 正夫（関東学院大学建築・環境学部）、山口 修由（国立研究開発法人建築研究所） 興石 直幸（早稲田大学理工学術院）、中尾 方人（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院）、澤田 圭（北海道大学大学院農学研究院）、石山 央樹（中部大学工学部建築学科） 戸田 正彦（北海道立総合研究機構林産試験場）、原田 真樹（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）、森 拓郎（広島大学大学院工学研究科） 津和 佑子（文化財建築物保存技術協会）、山崎 真理子（名古屋大学大学院生命農学研究科）		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2017 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 2018 年度に「既存木造建築物健全性診断ガイドライン(案)」の刊行を予定
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 委員会開催 予定通り 2. ガイドライン(案)の原稿の作成中
委員会活動の問題点 ・課題	1. 原稿作成中

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。